

令和元年5月18日現在

機関番号：12301

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2016～2018

課題番号：16K02442

研究課題名(和文) ウェブアーカイブを利用したシェイクスピア上演研究・教育プログラムの構築と普及

研究課題名(英文) The Development of Shakespeare Performance Studies and Education through Web Archive

研究代表者

末松 美知子 (Suematsu, Michiko)

群馬大学・社会情報学部・教授

研究者番号：90216276

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,400,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、先行研究で構築したウェブ・アーカイブA|S|I|A (Asian Shakespeare Intercultural Archive) の改訂を行った。具体的には、上演映像やデータ等のコンテンツの見直し、インターフェイスの変更、検索データをリスト化して保存・印刷できる機能や分析データをグラフで視覚化する新たな機能の追加などである。

さらに、シンガポール国立大学、韓国順天大学校、英国バーミンガム大学シェイクスピア研究所の研究者たちと協力し、A|S|I|Aを利用したオンライン比較演劇授業の教材作成の準備を進めた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究では、ウェブ・アーカイブA|S|I|A (Asian Shakespeare Intercultural Archive) 収蔵のシェイクスピア上演映像、データ、資料等のコンテンツを活用した比較演劇研究と新たな教育プログラムの普及を行い、演劇分野におけるデジタルヒューマニティーズの進展に貢献した。また、世界の研究者たちとの協力によりシェイクスピア上演比較分野における研究・教育のネットワーク作りを進め、アジアから国際的に発信した。

研究成果の概要(英文)： This research has revised the web archive of Asian Shakespeare productions, A|S|I|A (Asian Shakespeare Intercultural Archive), created in the previous JSPS Grant in Aid researches. Specifically, the revision includes an update of contents and interface as well as an addition of new functions to list, save and print searched data, and to graphically visualise searched data. Furthermore, a framework for online edition which will constitute the core material of online comparative performance studies course has been devised in collaboration with overseas researchers from Singapore, Korea, and UK.

研究分野：人文学

キーワード：シェイクスピア上演 デジタルアーカイブ 比較演劇 国際研究者交流

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19、CK - 19 (共通)

#### 1. 研究開始当初の背景

1990年代以降、シェイクスピア研究の分野で上演研究が活発に行われるようになってきた。その中で世界各地のシェイクスピア上演に関心を寄せる‘Global/Local Shakespeares’という研究の潮流が生まれ、研究代表者も日本の上演について世界の学会で報告してきた。その際演劇の地理的・時間的制約を超えた研究を可能にするリソースのニーズを痛感したことから、アジアの研究者たちと協力し、アジア諸国のシェイクスピア上演映像とそれに関わる様々な資料を一括して収録したアジア初の本格的なシェイクスピア上演ウェブ・アーカイブである A|S|I|A (Asian Shakespeare Intercultural Archive) を構築した。

先行研究「アジアにおけるシェイクスピア上演ウェブ・アーカイブの構築」(基盤研究(C) 2007~2009年度)、「アジアにおけるシェイクスピア上演ウェブ・アーカイブの充実と活用」(基盤研究(C) 2010~2012年度)、「ウェブ・アーカイブを利用したシェイクスピア上演研究・教育の推進」(基盤研究(C) 2013~2015年度)ではウェブ・アーカイブの構築と改訂を継続して行ってきた。

併せて、ウェブ・アーカイブ構築の報告やウェブ・アーカイブを利用した研究発表を国内外の学会で行ってきたが、その際にコンテンツや機能を見直して、さらにシェイクスピア上演研究と教育に貢献する要請を受けたことを契機に、本研究は開始された。

#### 2. 研究の目的

世界中のシェイクスピア上演研究者や学生の間でウェブ・アーカイブ A|S|I|A の利用が広まる中で、本研究は利用者のフィードバックを参考に A|S|I|A のコンテンツと機能を充実させ、アジアに限らず世界のシェイクスピア上演の比較研究と教育のさらなる発展に貢献することを目的とした。

また、世界レベルの比較演劇研究に不可欠な演劇研究者の国際的なネットワーク強化もめざした。

#### 3. 研究の方法

##### (1) 国際共同プロジェクトチームによる共同作業

ウェブ・アーカイブ構築当初から協力体制にある次のアジアの高等教育機関と引き続き協力し、国際共同プロジェクトとして本研究を行うこととした。

- ・ シンガポール国立大学 (シンガポール)
- ・ 順天郷大学校 (大韓民国)

また、大学院でのオンライン上演研究コースを計画中のバーミンガム大学シェイクスピア研究所とも連携を開始した。

##### (2) ウェブ・アーカイブのコンテンツと機能の充実

東南アジアにおけるシェイクスピア上演の作品映像資料とその著作権の獲得、プログラム等の上演に関する資料収集、各上演の詳細な分析データ作成と修正、コンテンツのデジタル化を継続して行った。また、インターフェイスの変更に加え、検索したデータをリスト化して保存・印刷できる機能や、分析データを円グラフで視覚化して比較できる機能等を新たに追加した。(詳細については、4. 研究成果 (1) ウェブ・アーカイブコンテンツと機能の充実の項参照)

##### (3) 研究成果の国際的発信

研究代表者は、国内外の学会で A|S|I|A 構築・改訂の進行状況を報告するとともに、ウェブ・アーカイブを利用した上演研究の意義や問題点、活用事例等について継続的な報告・意見交換を行った。

#### 4. 研究成果

##### (1) ウェブ・アーカイブコンテンツと機能の充実

###### コンテンツの充実

ウェブ・アーカイブ A|S|I|A は、主に、シェイクスピア上演作品映像資料と上演作品の詳細な分析データ(メタデータ)から構成されている。2018年までに、日本、台湾、中国、シンガポール、韓国、マレーシアの劇団より計62作品の上演映像及び著作権を取得し、既に英語、日本語、中国語、韓国語の字幕をつけた上演映像及び分析データのウェブ上での公開が終了している。また、参考文献等古いデータの改訂も行った(データの翻訳は一部未終了)。

現在ウェブ・アーカイブ A|S|I|A で映像と上演情報データを公開している主な上演作品は以下の通りである。

###### [日本]

- 『アテネのタイモン』、シェイクスピア・シアター、出口典雄演出、(1996年)
- 『真夏の夜の夢』、劇団昴、三輪えりか演出、(2006年)
- 『ハムレット』、りゅーとぴあ能楽堂シェイクスピア、栗田芳宏演出、(2007年)

『ク・ナウカで夢幻なオセロ-OHELLO』、ク・ナウカ シアターカンパニー、宮城聡演出、(2007年)

『シンベリン』、子供のためのシェイクスピアカンパニー、山崎清介演出、(2008年)

『前向きタイモン』、ミクニヤナイハラプロジェクト、矢内原美邦演出、(2011-13年)

#### [韓国]

『コリオレーナス』、Hwadong Theatre Company、LEE Hyon-u (演出)、(2005年)

『麻浦の黄富者』、劇団ミチュウ、ソン・ジンチュク演出、(2005年)

『ロミオとジュリエット』、劇団木花、オ・テソク演出、(2005年-)

『十二夜』、劇団旅行者、ヤン・ジョンウン演出、(2011-12年)

#### [中国]

『大將軍コー・リウラン(寇流蘭)』、北京人民芸術劇院、リン・ツァオファ(林兆華)演出、(2007年)

『欲望の王国』、当代伝奇劇場、ウー・シンクォ演出、(1986-2010年)

『リチャード三世』、中国国家話劇院、ワン・シャオイン演出(2012年-)

#### [シンガポール]

『リア』、国際交流基金、オン・ケンセン(王景生)演出、(1997年)

『サーチ:ハムレット』、Theatre Works、オン・ケンセン(王景生)演出、(2002年)

#### [マレーシア]

『マヨン ティティス・サクティ 魔法のしずく』、Actors Studio、Norzizi Zulkifli 演出、(2009年)

#### 機能の充実

上演作品に関する詳細な分析データ(メタデータ)は、トップページの検索欄から自由なキーワード検索により抽出する形式であったが、新たに検索結果を一覧にして保存・印刷する機能を追加した。また、各上演作品の演出を特色づける音楽、衣装、装置、小道具、照明、表現形態、言語等の分析データを円グラフ(図1)で視覚化する機能を新たに追加した。これにより、所蔵されたアジアのシェイクスピア上演作品の特徴をデータから客観的に比較分析することが可能となった。

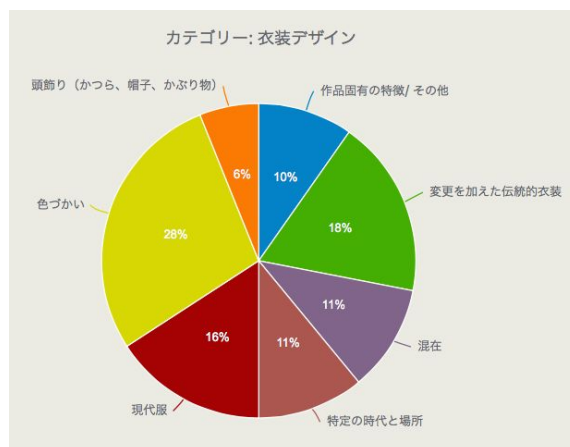


図1 所蔵作品の衣装デザインの特徴の分布を示す円グラフ

#### (2) 研究成果の国際的発信と国際的なネットワーキング

研究代表者は国内外の学会で A|S|I|A 構築状況を報告するとともに、ウェブ・アーカイブを利用した上演研究の意義や問題点について意見交換を行った。(発表の詳細については、5. 主な発表論文等の〔学会発表〕の項参照)

また、科研プロジェクトチーム(群馬大学)、シンガポール国立大学プロジェクトチーム、大韓民国順天郷大学校チームは、以下の通り継続的に意見交換し、アーカイブコンテンツと機能の充実および活用方法を検討した。また、最新の比較上演研究に関する情報交換も行った。

・2016年7月 イギリスのストラットフォード・アポン・エイボンとロンドンで開催された第10回国際シェイクスピア学会 World Shakespeare Congressの際に、コンテンツと機能の充実を目的に、打ち合わせを行った。

・2018年7月 イギリスのストラットフォード・アポン・エイボンで開催されたInternational Shakespeare Conferenceの際に、バーミンガム大学シェイクスピア研究所長のマイケル・ドブソン教授も加わり、今後のA|S|I|Aの教育的利用方法について検討を進めた。

### (3) 成果の位置づけ

世界的にシェイクスピア上演に関するデジタルアーカイブの構築が進む中、ウェブ・アーカイブ A|S|I|A にも国内外の学会から高い関心が寄せられた。ウェブ・アーカイブ活用事例の報告要請により、第10回国際シェイクスピア学会(2016年)、日本演劇学会秋の研究集会(2016年)、第56回日本シェイクスピア学会(2017年)の招聘を受けて研究報告を行った。今後も A|S|I|A プロジェクトチームに、インターカルチュラルな比較上演研究・教育の分野での先駆的な成果の発信が期待されていると言える。

### 5. 主な発表論文等

[雑誌論文](計 2件)

Michiko Suematsu, A Catalyst for Theatrical Reinvention: Contemporary Travelling Companies at the Tokyo Globe Theatre, *Shakespeare Survey* (Cambridge University Press), 査読有, Vol. 71, 2018, 46-50

末松美知子、小林かおり、アジアにおけるシェイクスピア上演アーカイブの構築と上演研究の可能性、人間文化研究(名古屋市立大学大学院人間文化研究科) 査読無、27巻、2017、7-15

[学会発表](計 3件)

末松美知子、パネルディスカッション「シェイクスピア研究におけるデジタル・ヒューマニティーズの成果と可能性」、第56回日本シェイクスピア学会、2017.10.8、近畿大学

末松美知子、データからみる日本のシェイクスピア上演の特色、2016日本演劇学会秋の研究集会、2016.12.4、京都産業大学

Michiko Suematsu, A Catalyst for Theatrical Reinvention: Contemporary Travelling Companies at the Tokyo Globe Theatre、国際シェイクスピア学会 World Shakespeare Congress、2016.8.1、バーミンガム大学

[図書](計 3件)

Michiko Suematsu, James C. Bulman, Dennis Kennedy他, Oxford University Press, *The Oxford Handbook of Shakespeare and Performance*, 2017, 656 (担当部分584-598)

Michiko Suematsu, Siyuan Liu, Alexa Huang, Yong Li Lan他, Routledge, *Routledge Handbook of Theatre*, 2016, 578 (担当部分509-513)

末松美知子、小林かおり、吉原ゆかり他、春風社、異文化理解とパフォーマンス、2016、502 (担当部分 441-457)

[その他]

ホームページ等

A|S|I|A (Asian Shakespeare Intercultural Archive)

<http://a-s-i-a-web.org>

### 6. 研究組織

(1)研究分担者

研究分担者氏名:

ローマ字氏名:

所属研究機関名:

部局名:

職名:

研究者番号(8桁):

(2)研究協力者

研究協力者氏名: リーラン・ヨン

ローマ字氏名: Li Lan Yong

所属研究機関名: シンガポール国立大学

職名: 准教授

研究協力者氏名: ヒョンウー・リー

ローマ字氏名: Hyonu Lee

所属研究機関名: 順天郷大学校(大韓民国)

職名: 教授

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。